

質 問 書 (回 答)

2023 年 12 月 21 日

「アフリカ地域(広域)グローバル・カイゼン・ネットワーク推進にかかる情報収集・確認調査フェーズ 2 (QCBS-ランプサム型)」

(公示日:2023 年 12 月 6 日/調達管理番号:23a00705)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号 1~12 は 12 月 15 日に回答済です。通番号 13 が 12 月 25 日回答分です。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	16 ページ「5. 調査の内容(3)AKI のモニタリングシステムの構築」	「JICA が提供するプラットフォーム」がどのようなものか、概要説明がほしい。	膨大なデータから必要な情報を抽出し、それらを数字の羅列ではなくグラフなどの見やすい形に変換してダッシュボード上に表示するツールです。JICA が提供するプラットフォームの名称は契約後にお伝えいたします。ダッシュボードの他の事例は以下リンクをご参照下さい。 CARD (riceforafrica.net)
2	27 ページ「2. 業務実施上の条件(3)現地再委託」及び 30 ページ「4. 見積書作成にかかる留意事項(4)定額計上について」	AKI ダッシュボード設立について現地再委託を認めるとあり、また定額計上としてシステム開発・運営費の記載があるため、再委託でシステム開発をするような印象をうけるが、フェーズ2では AKI ダッシュボードのシステム構築をするのか、それともシステムではなく AKI データの集計方法を検討するのみでいいのか。	JICA が提供する既存のダッシュボードを活用するため、システムを初期から構築することは想定しておりません。データ集計とデータを効果的に公開するための表示方法の検討を行って頂きます。その上で、既存のダッシュボードから仕様の変更が生じた場合には、システム開発(及び仕様変更)の検討も行って頂く可能性があります。システム開発や修正業務自体はJICAが契約するインハウスコンサルタントへの委託により実施する想定です。委託費用は定額計上に含まれます。

3	15 ページ「5. 調査の内容(2) 標準化されたカイゼンアプローチの普及促進③カイゼンの効果測定のための指標(KPI)設定」	<p>「カイゼン活動を実施しているすべての国に対してエクセルシートを活用しカイゼン効果のデータを集計する方法」とあるが、どのエクセルシートを想定しているのか。フェーズ1の WG3で開発した「KPI 金額換算エクセルシート」を指しているか。</p> <p>またデータベース構築については、以下3つのどれを想定しているか。</p> <p>(a)エクセルシート活用(及びデータ集計)と同時並行でデータベース構築 (b)エクセルシートの普及は措いておき、まずはデータベース構築に専念 (c)まずはエクセルシートを普及させその実用性を確定させた後、データベース構築の検討</p> <p>また、(a)~(c)のいずれの場合でもデータベース構築費用は本見積に含めるもしくは別見積もり(＝別提案) とすべきかご教示ください。</p>	<p>フェーズ1のWG3で開発した「KPI 金額換算エクセルシート」を指しています。</p> <p>データベース構築については、(a)エクセルシート活用(及びデータ集計)と同時並行でデータベース構築を想定しています。</p> <p>データベース構築費用は定額計上(500 万円)として追加しましたので、別紙をご確認ください。</p>
4	16 ページ「5. 調査の内容(2) 標準化されたカイゼンアプローチの普及促進③カイゼンの効果測定のための指標(KPI)設定」	TICAD や AKI クラスターなどの指標追加も検討すべきとあるが、これらは AKI ダッシュボードに反映されるものではないか。これらの項目もカイゼン KPI データベースに追加するのは時間と費用の観点から厳しいと思われる。	データベースの内容・構築に向けた進め方については、プロポーザルにおいてご提案頂ければと存じます。
5	17～18 ページ「5. 調査の内容(6) AKAC の実施の側面支援」	AKAC の開催について、ホスト国が現地民間企業に再々委託することはできるのか。	再々委託については原則不可となります。他方、実施ホスト国の実施機関のみならず、同機関との協議の結果、同機関と共に選定する協力会社を再委託先とすることは想定されます。

			<p>については、企画競争説明書 17 ページ「(6) AKAC の実施の側面支援」について、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 「実施ホスト国を再委託先として、AKAC の実施・運営を行う。」</p> <p>【修正後】 「<u>実施ホスト国の実施機関や同機関と共に選定する協力会社を再委託先とすることも可能とする。</u>」</p>
6	15 ページ「5. 調査の内容(2) 標準化されたカイゼンアプローチの普及促進②研修カリキュラム標準化」	「カイゼン活動を実施している国や今後新たに実施を検討している国から 3 か国を選定し現地視察を行い、同カリキュラムを活用した研修の導入について、検討を行い、現地活動を通じて、導入を促進する。特に、カイゼンの導入・普及は進んでいるもの、経営管理分野のモジュール III 及び IV を導入していない国を 2 か国選定し、試行導入を行う」とあるが、これは合計 5 か国ではなく、合計 3 か国と理解してよろしいか。(モジュール I、II を実施する国 1, モジュール III、IV を実施する国 2 という内訳か)	合計 3 か国の想定です。
7	17 ページ「5. 調査の内容 (5) 新規カイゼン導入国への普及方法の検討及び実施」	「新規カイゼン導入国」については JICA グローバル・アジェンダ No.4 「民間セクター開発」クラスター事業戦略アフリカ・カイゼン・イニシアティブ (AKI) p28 に掲載の図表「7:カイゼン・アプローチ群別の支援」の第 1 群を指すのか、第 2 群を指すのか、それとも両方か。また第 1 群と第 2 群を分	<p>第 1 群と第 2 群両方を指しています。</p> <p>第 1 群はプロジェクト未実施国、第 2 群は、カイゼン・アプローチの普及へ関心を有する国となります。各国の普及関心は現時点では不明なため、両群合計で国数を計算しています。</p>

		<p>けてそれぞれの群に属する国名をご教示いただきたい。</p>	<p>アンゴラ、エスワティニ、エリトリア、ガボン、ガンビア、カーボベルデ、ギニア、ギニアビサウ、コモロ、コンゴ、シエラレオネ、ジブチ、サントメ・プリンシペ、赤道ギニア、セーシャル、ソマリア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ブルンジ、ベナン、マダガスカル、マリ、モーリタニア、リビア、リベリア、レソト</p> <p>上記の内、ガボン、リビア、マダガスカルはカイゼン導入への関心があることを把握しています。</p>
8	<p>15 ページ「5. 調査の内容(2) 標準化されたカイゼンアプローチの普及促進③カイゼンの効果測定のための指標(KPI)設定」</p>	<p>「フェーズ 2 では、カイゼン活動を実施しているすべての国に対してエクセルシートを活用しデータ集計をする」とあるが、「カイゼン活動を実施しているすべての国」とは、JICA グローバル・アジェンダ No.4 「民間セクター開発」クラスター事業戦略アフリカ・カイゼン・イニシアティブ(AKI) p28 に掲載の図表「7:カイゼン・アプローチ群別の支援」の第 4 群の 10 カ国を指すのか。それとも第 3 群及び第 4 群を合わせて計 27 カ国を指すのか。</p>	<p>第 3 群及び第 4 群を合わせて計 27 カ国を指していますが、第 4 群の 10 カ国から優先的に実施できればと思います。</p>
9	<p>①17 ページ「5.調査の内容(6) AKAC の実施の側面支援」</p>	<p>2024 年及び 2025 年の AKAC には、本調査事業予算から現地への参加者招待は、何名を予定しているか？また、両年ともハイブリッドでの開催を予定しているか？</p> <p>また、「なお、参加者の渡航にかかる調整、旅費・謝金に係る調整(渡航日程の確定、渡航手続き</p>	<p>2023 年同様参加者招待は 30～40 名/年を想定しています。開催国の意向にもよりますが現時点では、ハイブリッドでの開催は想定していません。</p> <p>参加者の渡航にかかる経費(旅費・宿泊費・日当等)は、定額計上より支出下さい。</p>

		の支援等)、旅費・謝金支払にかかる調整(支払を含む)は、受注者より行う」とあるので、参加者の渡航にかかる経費(旅費・宿泊費・日当等)は、定額計上分からではなく、本見積から支出するのか。	
10	30 ページ「4. 見積書作成にかかる留意事項(4)定額計上について」5 AKAC費用	上記質問通番号9と同様の質問となるが、当該費用には「登壇者旅費」の記載はあるが、各国からの一般の「参加者旅費」の記載はない。「定額計上」に「参加者旅費」が含まれるとする場合、これまでの経験から、「定額計上分」だけでは不足するのではないかと懸念されますが如何でしょうか。 なお、ハイブリッド開催とする際、現地オンライン配信業者にかかる経費は、定額計上内の「設備・設営代」に該当するという理解で良いか。	参加者の渡航にかかる経費(旅費・宿泊費・日当等)は、定額計上より支出下さい。 現地オンライン配信業者にかかる経費が必要となった場合は、契約変更により対応します。
11	31 ページ「4. 見積書作成にかかる留意事項(4)定額計上について」6 AKA費用	AKA は AKAC 内での合同開催との理解。金額に含まれる範囲として、「セミナー会場費」とあるが、再委託予定の AKAC 費用にて計上予定の会場費とは別になるか。また、その際の「セミナー」とは、何を指すか。	再委託予定の AKAC 費用にて計上予定の会場と別に実施される場合の費用となります。合同開催され、会場が同じになる場合は費用の発生は想定しません。
12	14 ページ「5. 調査の内容 (2)標準化されたカイゼンアプローチの普及促進 ①カイゼン指導を担うコンサルタントの登録・認証制度」	「共通問題集」を作成し、それを各国のコンサルタントの認定時に実施される筆記試験の問題の一部に組み込まれる活動も実施した」とあるが、実際には「共通問題集」を将来的に作成することを提案しただけで問題集じたいは作成されていないと思うが如何でしょうか。	失礼いたしました。ご理解のとおりです。

<p>13 (第2回)</p>	<p>データベース構築費用</p>	<p>再委託費として定額計上5,000,000円を追加頂き、ありがとうございます。 追加の質問になりますが、プロジェクトのなかで機能追加の必要性があり、その結果構築費用が定額計上5,000,000円を超えた場合は、予算を追加頂くことは可能でしょうか？</p>	<p>契約締結時に定額計上とした費目については、定額計上業務を開始する前に、その業務内容と予算額を確定し、当該業務完了後は残額を確定します。業務内容と予算額を確定する際に、定額計上の当初の設定金額では、必要な支出が賅えないことが明らかになった場合、監督職員と対応を協議し、契約金額の増額が真に必要な場合は、契約変更を行います。なお、定額計上の業務完了後に不足額が判明した場合は、契約変更で遡及して不足額を補填することはしません。</p>
---------------------	-------------------	---	--

以上

第3章 プロポーザル作成に係る留意事項

4. 見積書作成にかかる留意事項

(4)定額計上について

【修正後】

	対象とする経費	該当箇所	金額（税抜き）	金額に含まれる範囲	費用項目
1	全渡航に係る航空賃	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容（2）標準化されたカイゼンアプローチの普及促進、地域経済共同体、（4）ドナーとの連携強化にかかる情報収集・分析及び連携案の提案、（5）新規カイゼン導入国への普及方法の検討及び実施、（6）AKACの実施の側面支援、（7）AKAの実施支援、（8）CEP（Capacity Enhancement Program）の実施支援	24,368,000円	航空賃	旅費
2	AKI ダッシュボード設立	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容（3）AKIのモニタリングシステムの構築	1,000,000円	システム開発・運営費	再委託費
3	ドナー連携推進費	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容（4）地域経済共同体、ドナーとの連携強化にかかる情報収集・分析及び連携案の提案	3,000,000円	セミナー会場費、機材費、謝金、出張旅費（日当・宿泊費）等	一般業務費（雑費）
4	新規カイゼン導入国への普及実施	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容（5）新規カイゼン導入国への普及方法の検討及び実施	6,000,000円	セミナー会場費、機材費、謝金、出張旅費（日当・宿泊費）等	一般業務費（雑費）
5	AKAC費用	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容（6）AKACの実施の側面支援」	18,000,000円	現地雇用事務員、登壇者謝金、登壇者原稿謝金、通訳、車両費、空港送迎費、会場費（レセプション	再委託費

				費用含む)、設備・設営代、バナ 一等作成費用、文房具、コピート ナー・用紙、登壇者旅費・日当・ 宿泊費、通信・運搬費、資料印刷 費、資料製本費、写真ビデオ撮 影・編集費、資料翻訳費等	
6	AKA 費用	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容 (7) AKA の実施支援」	2,000,000 円	セミナー会場費、機材費、謝金、 出張旅費(日当・宿泊費)等	一般業務費 (雑費)
7	CEP トレーニ ング費用(会場・ 機材・旅費/日 当)	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容 (8) CEP (Capacity Enhancement Program) の実施支援」	10,000,000 円	セミナー会場費、機材費、謝金、 出張旅費(日当・宿泊費)等	一般業務費 (雑費)
8	TICAD 運営費	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容 (9) TICAD サイドイベントの企画運営補 助」	5,000,000 円	セミナー会場費、機材費、謝金、 出張旅費(日当・宿泊費)等	一般業務費 (雑費)
9	合同分科会オン サイト会合	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容 (10) 合同分科会(Cross Functional Working Group) の開催支援	14,000,000 円	セミナー会場費、機材費、謝金、 出張旅費(日当・宿泊費)等	一般業務費 (雑費)
10	COE の活動実施 支援	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容 (11) COE の活動実施支援	10,000,000 円	セミナー会場費、機材費、謝金、 出張旅費(日当・宿泊費)等	再委託費
11	有識者傭人費	「第2章 特記仕様書案 4. 実施方針及 び留意事項(8) アフリカ地域の有識者の 活用	10,800,000 円	アフリカ出身の有識者の特殊傭人 として	一般業務費

12	CoE トレーニング教材翻訳費、パイロットトレーニング教材翻訳費	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容 (2) 標準化されたカイゼンアプローチの普及促進、(8) CEP (Capacity Enhancement Program) の実施支援」	2,000,000 円	資料翻訳費	一般業務費 (資料等翻訳費)
13 (追加)	データベース構築費用	「第2章 特記仕様書案 5. 調査の内容 (2) 標準化されたカイゼンアプローチの普及促進、③カイゼンの効果測定のための指標 (KPI) 設定」	5,000,000 円	システム開発・運営費	再委託費